

南丹市教育委員会会議録

平成 28 年第 12 回定例会

(平成 28 年 12 月 21 日)

平成28年南丹市教育委員会第12回定例会会議録

1. 日 時 平成28年12月21日(水)
開会 午後3時30分 閉会 午後5時30分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 委員長 武田 義史
5. 出席委員 委員長 武田 義史
委員長職務代理 高屋 毅史
委 員 吉田 尋子
委 員 城戸 貴子
教育長 森 榮一
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 岸本 薫
教育参事 後藤 昌則
教育総務課長 中川 勇夫
学校教育課長 山内 紀子
社会教育課長 寺田 成樹
8. 傍 聴 人 な し

午後3時30分開会

日程1 開会

委員長が平成28年南丹市教育委員会第12回定例会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

委員長から会議録作成者に中川教育総務課長を指名する。

日程3 会議録の承認

日程4 報告事項

(1) 主な行事報告等

(教育長)

- 11月17・18日、平成28年度市町村教育委員会研究協議会が高知県で開催された。各委員にも遠方までお世話になった。
- 11月20日、第12回南丹地区小学校駅伝競走大会「京都丹波キッズふれあい駅伝」が園部公園陸上競技場で開催された。(19日が雨のため順延開催)管内29チーム中、園部小学校が5年ぶりに優勝、5位に胡麻郷小学校、11位に園部第二小学校、14～17位に南丹市立小学校が入賞し、各校児童の力走が見られた大会となった。
- 11月22日、人権教育講座第3講として、関西大学人権問題研究室委嘱研究員の宮前千雅子氏に「差別をしない社会づくりに向けて」という演題でご講義をいただいた。差別をしないということは人を尊重することそのものであるとことを再認識した。
- 11月24日、市の就学指導委員会研修会を開催した。障がいのある子ども達の就学指導に関わる教育関係者約30名の参加のもと、専門家や関係者による総合的な判断で就学指導をしていくことの大切さについて、講師の中丹支援学校菅生校長から学び取ってもらい、有意義な研修となった。
- 11月25日、美山小学校で京都丹波の学力向上研究指定校と少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業の研究発表会を開催した。約60名の教職員が参加し研究成果について発表を行った。
- 11月26日、第6回「きらり・本のことば」コンクール表彰式を開催した。すばらしい作品にふれ、多くの子ども達が読書活動の機運を盛り上げてくれればと期待している。
- 11月30日、市の社会教育委員会議が開催され、最終的な答申内容が決定された。
- 12月3日、第1回なんたん音楽フェスティバルを開催した。昨年までのビートバンドフェスティバルと合唱コンクールを1つにして開催したもので、全17組、総勢400人の方々に参加いただいた。
- 12月5日から3日間、議会一般質問が行われた。
- 12月13日、本年最後の校園長会議を開催した。人権教育のより一層の充実、冬季休業中の生徒指導の充実による幼児・児童・生徒の安全の確保等について発達段階に応じた指導を求めるとともに、教職員の服務規律の確保について必要な指示を行った。

(2) 社会教育委員会議答申について

(事務局)

資料に基づき報告

(3) 平成28年12月議会定例会における一般質問について

(事務局)

資料に基づき報告

(4) 平成28年度市政懇談会における教育委員会関連事項について

(事務局)

資料に基づき報告

(5) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告

日程5 議 事

その他 社会教育委員会議答申を踏まえた対応について

(武田委員長)

先ほど事務局から報告があった答申を受けた今後の対応について協議していきたい。平成25年度の社会教育委員会議答申「今後の社会教育施設の在り方について」の主旨は、社会教育施設の老朽化対策と機能集約の必要性が指摘されていたところであったと理解している。今回テーマとなった園部公民館・八木公民館の在り方についての検討結果は、基本的には前回の検討結果を踏まえた形でまとめられたと理解しているが、本日は3点について協議いただきたい。

1点目は、来年4月から両公民館を休館することに伴う代替機能施設をどうするのかということで、社会教育委員会議の中間段階では、園部公民館は国際交流会館を、八木公民館は八木支所3階を位置づけることが望ましいとのことであったが、各委員の意見を伺いたい。

(吉田委員)

機能移転した八木支所に改修の必要が生じた場合、公民館機能は保てるのか。

(事務局)

現在のところ大きな改修の必要はないため、公民館機能は果たせると考える。

(武田委員長)

社会教育委員会議の意見に異論はないようなので、代替施設の位置づけについて、園部公民館については国際交流会館を、八木公民館については八木

支所3階を休館中の代替機能施設として位置づけることが望ましいとしてよろしいか。

(委員)

異議なし。

(武田委員長)

2点目は、この答申を尊重することとするかどうかについて協議する前に、答申には、現施設の耐震補強と老朽化対応を進め、継続利用の可能性を探りつつ、様々な市民ニーズに対応する公民館の在り方を検討する必要があること。とあるが、継続利用の可能性を探りたいとはどういうことなのか、様々な市民ニーズに対応する公民館とはどういうことなのか、ホールの規模について400人、200人という数字が上がってきているが、その幅等についての意見はどうであったのかの3点について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

継続利用の可能性を探りたいというのは、両公民館とも長い歴史があるため市民の方々の思い入れが強いこともあり、耐震補強と老朽化対策を踏まえて継続利用の可能性を探ってほしいという一つの考え方である。様々な市民ニーズに対応する公民館とは、今の公民館は社会教育法の中の制約事項が多くあり、とりわけ営利目的とした場合は使用できないため、それを取り除くことにより集客率や稼働率の向上に繋がり快適に過ごせる場所となるようにしてほしいという意見である。ホールの規模について、現在の園部公民館は507席、八木公民館は200席となっている。園部において今までのイベントの中で一番多くの利用者があったものが成人式であり、約400人規模であったため議論の基本とされている。八木については現状規模で十分機能が果たせていると考えられるため200人を基本とされたもの。

(委員長)

この答申を尊重することについて異論はないようなので、この答申を尊重することとしてよろしいか。

(委員)

異議なし。

(武田委員長)

3点目は、ホール機能を除いて園部・八木両公民館の今後の在り方について具体的に協議したい。答申は、耐震化若しくは機能集約ということだが、各委員の意見を伺いたい。

【園部公民館について】

(高屋委員)

園部公民館について、まず耐震補強ができるのかどうか、できたとして何

年持つのか。音響や内装工事の費用総額がどれくらいになるのか。

(事務局)

園部公民館のホール棟については耐震補強ができるかどうか最終結論は出ていないが、耐震化による長寿命化については、しっかりとメンテナンスを行いながらであれば30年は持つとの委託業者の見解である。補強計画策定後に総額が確定するが、音響・内装工事だけで2億円程度かかるという見積もりである。

【八木公民館について】

(吉田委員)

八木公民館の機能移転については、八木支所で対応可能とのことであるので社会教育委員会の答申を尊重することで良いと思う。

(城戸委員)

八木公民館は災害時の避難所にもなっていると思うが、機能移転しても問題はないのか。

(事務局)

避難所の指定については総務部の管轄になるので、公的な施設が移り変わることによる避難所の指定についても検討されることになると思われる。

(城戸委員)

市民の方の利便性が損なわれず、多くの方に利用していただき、次世代への負担を残さない方法で皆さんのご理解が得られるのであれば、八木支所へ機能移転する方向で良いと思う。

(高屋委員)

園部公民館についても、機能集約を図る観点から国際交流会館に移転することも考えられるのではないかと。

(事務局)

国際交流会館については、市長部局の他の答申の中でも活用検討が進められていると聞いている。

(武田委員長)

最後にホール機能の在り方について議論をお願いしたい。

(城戸委員)

園部公民館からホールがなくなるということは、南丹市全域にとってもマイナスになると考えられるので、ホール機能の充実は大切なことではないかと思う。

(武田委員長)

本日いただいた意見をまとめると、1点目は、機能代替え施設を国際交流会館と八木支所3階とすることが望ましい。2点目は、答申を尊重することを前提として園部公民館は耐震補強を行い継続利用の可能性を探り、八木公民館は、八木支所3階に機能集約していく方向を重視しつつ、耐震化も含め今後の方向性を探っていくということ。3点目は、両公民館とも公民館としてではなく市民センターとしての位置づけも含め、安心して活用できるホール機能の充実は不可欠であるので検討課題として位置付ける必要があるということで確認することとしたいと考えますがよろしいか。

(委員)

異議なし。

日程6 その他

(1)平成29年南丹市成人式について

資料により、説明と依頼

(事務局)

- 資料により、南丹市献立検討会議の設立について説明
- 資料により、南丹市コミュニティ・スクールについて報告
- 主な行事予定等説明

[次回定例会について]

(委員長)

次回の日程について、1月18日(水)13時30分開催としたいがどうか。

(委員)

*委員長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後5時30分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会委員長

南丹市教育委員会委員長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会教育長

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長
